

臨床研究の実施に関する情報公開

横浜第一病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。
関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	腋窩腕神経叢ブロック施行群・非施行群において周術期における疼痛抑制効果や安全性に関する研究
研究機関名	横浜第一病院
研究責任者	平野 宏之介
研究期間	所属機関長の許可日（2025年5月28日）～2025年11月30日
対象者	2025年5月28日から2025年11月30日までの間に横浜第一病院で施行したバスキュラーアクセス手術のうちAVF・AVG・瘤切除術を対象にしています。
当該研究の意義・目的	バスキュラーアクセス手術の麻酔法は通常、局所麻酔か全身麻酔下で行われることが多く、術中・術直後の疼痛や疼痛に対する不安は患者さんにとって大きな負担となります。最近では神経ブロックが超音波ガイド下で安全かつ高い成功率で行われるようになり四肢の手術で多用されるようになっております。前腕が術野の中心であるバスキュラーアクセス手術においては腕神経叢ブロックが有効であると考えられ、これまでも周術期における疼痛抑制効果・安全性について報告されています。 そこで本研究ではバスキュラーアクセス手術において、疼痛抑制効果、安全性を比較することで腕神経叢ブロックの有用性を検討してきたいと考えます。
方法および研究で利用する試料・情報について	① 対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（年齢、性別、既往歴、内服歴など） ・臨床データ（疼痛スコア（VAS、NRS）、不安スケール、血管径、術後血液流量、開存率など） ・治療情報手術日、実際の治療内容、使用デバイス ・治療後情報（周術期合併症） ・転帰（死亡（死因）、シャント開存率日） ② 使用データは当院内で厳重に保管し、他施設へは提供しません。学会や医学雑誌で使用する場合がありますが個人が特定されることはありません。 ③ この研究で行う検査や解析は研究目的に施行するものであり対象者の診断を目的とするものではないため基本的には検査結果

	は説明いたしません。ご希望があれば研究計画書や測定データの入手・閲覧は可能です（他の対象者の個人情報の保護及び獨創性に支障がない範囲で）。研究結果は研究終了・中止後から 5 年、もしくは成果について学会発表等の報告を行った最終日から 3 年が経過した日のいずれかの遅い期日まで保管します。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
研究代表施設・代表者	横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター 平野宏之介
研究組織	横浜第一病院 看護部 中里瑠花
間合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 医療法人社団善仁会 横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター 045-453-6711（代表）